

横浜中央YMCA ☎045(662)3721
 横浜北YMCA ☎045(433)4321
 藤沢YMCA ☎0466(26)1151
 横須賀YMCA ☎046(834)5811
 川崎YMCA ☎044(932)2031
 厚木YMCA ☎046(244)4181
 YMCA ACT ☎045(316)1881
 鎌倉YMCA ☎0467(24)7859
 YMCA山手台センター ☎045(813)1022
 湘南とつかYMCA ☎045(864)4768
 金沢八景YMCA ☎045(782)3003
 YMCA東とつかセンター ☎045(392)3747

大和YMCAライフサポートセンター ☎046(264)3192
 横浜YMCAワークサポートセンターアンジュ ☎045(867)0090
 横浜YMCAワークサポートセンターレザン ☎045(860)5252
 YMCAあつぎ保育園ホサナ ☎046(222)8619
 YMCA山手台保育園アルク ☎045(813)1022

YMCAとつか保育園 ☎045(870)3663
 YMCAマナ保育園 ☎045(790)3588
 YMCAとつか乳児保育園 ☎045(870)3235
 YMCAつるみ保育園 ☎045(500)5030
 YMCAかわさき保育園 ☎044(520)1825

YMCAいずみ保育園 ☎045(800)3010
 YMCA東とつか保育園 ☎045(820)5588
 YMCA東がわ保育園 ☎045(440)3763
 YMCAたかつ保育園 ☎044(281)7833
 金沢八景YMCA保育園 ☎045(353)5130
 YMCAオベリン保育園 ☎042(707)9974
 大和YMCA保育園 ☎046(214)3192
 富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ ☎0544(54)1151
 三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ ☎046(888)2100
 鶴見中央YMCA ☎045(508)7800
 YMCAライフサポートセンター鶴見 ☎045(506)0131
 本部事務局 ☎045(662)3721

INFORMATION

横浜YMCA



●新型コロナウイルスの感染・拡大防止のため、イベントを延期・中止させていただく場合があります。詳細は各拠点までお問合せください(参加費は税込)

レクチャー

■イングリッシュセミナー
 日時 5月21日(金) 午前10時～正午
 会場 オンライン(Zoom)
 テーマ Quebec, from Feudalism to Modernity
 ゲスト Daniel McNeillさん
 内容 1995年に来日されたカナダのモントリオール出身のダニエルさんよりカナダの中でも独特の活気に満ちたフランス語文化を持つ故郷ケベック州の歴史について伺います。
 参加費 会員1,200円、一般1,500円
 申込み kamakura_info@yokohamaymca.org
 問合せ 鎌倉YMCA ☎0467(24)7859

キリスト教理解

■とつか聖書を学ぶ会
 日時 5月13日(木) 午前10時30分～11時30分
 会場 Zoomミーティング(オンライン)・湘南とつかYMCA 4階404教室
 講師 堀野浩嗣氏(横浜戸塚バプテスト教会牧師)
 テーマ 「生きて役立つ聖書の言葉」
 参加費 無料

問合せ 湘南とつかYMCA ☎045(864)4768
 ymsports@yokohamaymca.org
 ■聖書に聞く「聖書のABC」
 日時 5月21日(金) 午前11時～正午
 会場 横須賀YMCA
 テーマ 「福音書とは」
 参加費 無料
 問合せ 横須賀YMCA ☎046(834)5811

イベント

■プレママDay
 日時 5月11日(火) 午前10時30分～11時30分
 会場 金沢区地域子育て支援拠点とことこセルフハンドマッサージとおしゃべりタイム
 対象 第1子妊娠中の方
 定員 4名
 参加費 無料
 申込み 金沢区地域子育て支援拠点とことこ ☎045(780)3205

■オンラインラジオ体操
 日時 5月8日(土) 午前10時30分～10時45分
 15日(土)・22日(土)・29日(土)
 午前9時～9時15分
 会場 Zoomミーティング(オンライン)
 ○みんなで一緒に体操しましょう。詳細は各YMCAまたはホームページをご覧ください。
 ■横須賀YMCAヘルシーキッズデー
 日時 5月9日(日)・23日(日)

午前11時30分～12時30分
 会場 横須賀YMCA
 内容 ファミリースイミング
 参加費 500円(1家族)
 申込み 横須賀YMCA ☎046(834)5811
 ○プールで家族一緒に身体を動かしましょう。
 ■鎌倉YMCAヘルシーキッズデー
 日時 5月16日(日)
 会場 鷹取山
 対象 小学1年生～小学6年生(定員20名)
 内容 神武寺～鷹取山ハイキングコース(予定) 鷹取山まで登ります。
 参加費 会員2,750円、一般3,850円
 申込み 鎌倉YMCA ☎0467(24)7859

子育て支援

■横浜子育てサポートシステム入会説明会
 日時 5月13日(木)、26日(水) 午前10時15分～11時15分
 会場 中区地域子育て支援拠点のんびりんこ
 対象 横浜市子育てサポートシステムに入会を考えている方
 問合せ 横浜市子育てサポートシステム中区支部事務局 ☎045(663)0676

■横浜子育てサポートシステム入会説明会
 日時 5月13日(木) 午後1時30分～2時30分
 会場 金沢区地域子育て支援拠点とことこ
 対象 横浜市子育てサポートシステムに入会を考えている方
 問合せ 横浜市子育てサポートシステム金沢区支部事務局 ☎045(352)7110

学校説明会

■横浜YMCA学院専門学校作業療法科
 日時 5月8日(土)・15日(土)・*22日(土) 午前10時～
 内容 学校説明会/*AO入試説明会
 申込み ☎045(641)5785
 ■YMCA健康福祉専門学校
 日時 5月8日(土) 午前9時30分～・午後2時～ *15日(土)・*29日(土) *午前10時～/午後2時～
 内容 *AO入試説明会/学校説明会
 申込み ☎046(223)1441
 ■横浜YMCAスポーツ専門学校
 日時 5月8日(土)・9日(日)・16日(日)・22日(土) 午前9時30分～/*午後2時～
 内容 体験授業/*AO入試・学校説明会
 申込み ☎045(864)4990
 ■YMCA国際ビジネス専門学校
 日時 5月8日(土)・22日(土) 午前10時～正午
 内容 学校説明会
 申込み ☎044(932)2015
 ※詳細は各校のホームページまたは電話にてお問い合わせください。

横浜YMCA LINE公式アカウント 友だち募集中

子どもたちの健やかな成長願い ヘルシーキッズ&ファミリーキャンペーン開催

横浜YMCAでは、子どもたちの健やかな心と身体を育む支援や、家族で健康について考える機会として、「横浜YMCAヘルシーキッズ&ファミリーキャンペーン」を行っている

ます。5月に特別講演会「コロナに負けない! みんなで考える感染予防」を開催します。先の見えない状況の中、今できることを学び感染症に負けない元気な身体を作ることをご一緒に考えましょう。
 日時 5月15日(土) 午前10時30分～11時30分
 会場 Zoomミーティング(オンライン)

対象 大人の方
 講師 岩室紳也氏 (公衆衛生医師・ヘルスプロモーション推進センター(オフィスいわむろ)代表)
 参加費 無料
 ※講演会の詳細は、ホームページにてご確認ください。

ウイルス感染防止対策の取り組み

安心して施設をご利用いただくため、日常的な消毒清掃、扉や窓の開放等の感染予防対策を行っています。

私は、沼津ワイズメンズクラブ(以下クラブ)に入会し、20年が経とうとしています。入会のきっかけは、沼津YMCAセンター主催のキャンプリーダーに誘われたことでした。夏のキャンプ、冬のスキーキャンプ、ボランティア活動に、数年にわたりリーダーとして参加し、クラブのメンバーとして運営にも携わるようになりました。当時は、リーダーから女性で20代の入会はめずらしく、そのような私をクラブ、富士山部では温かく見守っていただき活動を通して成長させていただきました。

私にとってYMCAの活動は「チャレンジ」です。夢もなかった20代に「やってみな」行ってみたいな」という小さな心のつぶやきを形にし、一歩を踏み出す勇気くれた場です。先輩や仲間が存在が背中を押してくださり、小さな自分の世界が少しずつ大きくなり、経験したことごの豊かなつながりがついてきました。

とくに印象深いことは、富士山部のプロジェクトで南インドを訪問し、現地でのYMCA見学、学校訪問、施設訪問、IBC(国際兄弟クラブ)の例会に参加したこと。空気が、見るもの、食べるものすべてが衝撃でした。日本で

富士山YMCAでキャンプをしたことや歌ったこと、仲間と過ごした日々、そして食事(笑・富士山の食事を提供しています)を思い出してほしいです。だから「いつてらっしゃい」とYMCAの地から送り出し、この地で「おかえり」といつても迎えたいと思います。そのようなかけがえのない場所になれたら幸いです。富士山がいつでもみんなを待っていますよ!

の凝り固まった自分の考え方やわがままが恥ずかしくもありました。裸足で青空教室にてキラキラと輝いた目で勉強していた子どもたちは今どうしているだろうかと思えます。その後、私を会社を引き継ぎ、仕事の面でも「チャレンジ」をすることになりました。毎日が失敗や不安、決断と責任の連続でつぶれそうになりましたが、それでも明日はくると思いがなりました。そのような私を見守ってくれた富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジの前にそびえたつ富士山から不思議なパワーをいつももらっています。

富士山YMCAのキャンプでは、草原を笑顔で駆け巡り、仲間たちとキャンプをしている子どもたちをたくさん見えます。子どもたちには、これから多くの「チャレンジ」をしてほしいと思います。迷った時、悩んだ時、苦しい時には、富士山YMCAでキャンプをしたことや歌ったこと、仲間と過ごした日々、そして食事(笑・富士山の食事を提供しています)を思い出してほしいです。だから「いつてらっしゃい」とYMCAの地から送り出し、この地で「おかえり」といつても迎えたいと思います。そのようなかけがえのない場所になれたら幸いです。富士山がいつでもみんなを待っていますよ!

私に、沼津ワイズメンズクラブ(以下クラブ)に入会し、20年が経とうとしています。入会のきっかけは、沼津YMCAセンター主催のキャンプリーダーに誘われたことでした。夏のキャンプ、冬のスキーキャンプ、ボランティア活動に、数年にわたりリーダーとして参加し、クラブのメンバーとして運営にも携わるようになりました。当時は、リーダーから女性で20代の入会はめずらしく、そのような私をクラブ、富士山部では温かく見守っていただき活動を通して成長させていただきました。

私にとってYMCAの活動は「チャレンジ」です。夢もなかった20代に「やってみな」行ってみたいな」という小さな心のつぶやきを形にし、一歩を踏み出す勇気くれた場です。先輩や仲間が存在が背中を押してくださり、小さな自分の世界が少しずつ大きくなり、経験したことごの豊かなつながりがついてきました。

とくに印象深いことは、富士山部のプロジェクトで南インドを訪問し、現地でのYMCA見学、学校訪問、施設訪問、IBC(国際兄弟クラブ)の例会に参加したこと。空気が、見るもの、食べるものすべてが衝撃でした。日本で

富士山YMCAでキャンプをしたことや歌ったこと、仲間と過ごした日々、そして食事(笑・富士山の食事を提供しています)を思い出してほしいです。だから「いつてらっしゃい」とYMCAの地から送り出し、この地で「おかえり」といつても迎えたいと思います。そのようなかけがえのない場所になれたら幸いです。富士山がいつでもみんなを待っていますよ!

My Y Story 136

チャレンジ見守る富士山YMCA
私の一歩踏み出す勇気が与えられた

沼津ワイズメンズクラブ 菅沼 道子

▲富士山YMCA運営委員のメンバーと(左列前から2人目/2021年4月)



2021年5月1日発行 (毎月1日・1回発行) 1988年1月27日第3種郵便物認可 定価50円 発行/ 公益財団法人横浜YMCA 広報センター 〒231-8458 横浜市中区常盤町1-7 Tel 045-662-3721

横浜青年

YMCANews



なんでもない日常にありがとう

日本キリスト教団林間つきみ野教会 牧師 川浦 弥生
臨床心理士 公認心理士

横浜YMCAでは、一人ひとりのいのちを大切に、共生していく世界を築くことにつとめています。学校や新しい環境に入り1カ月が経過した5月は、子どもたちや青少年たちが新しい環境や人間関係に順応しにくいケースも見られます。今号では、そのような子ども達の現状や人間関係を理解し、大人の役割を考え、家庭や地域で子どもを守り育て、希望ある歩みを進めていけるよう共に考えていきます。

昨年の今ごろ、誰もいない教室はがらんとした本場にさびしい風景でした。子どもたちは6月に、ひとり10分ずつ学校に来て、友だちとすれ違いで急いで家や学童に戻りました。それから午前と午後、半数ずつ2時間の授業を受けて、やがて牛乳とパンだけの給食を摂ってから帰るようになりました。授業は2カ月分を取り戻すため、35分の7時間授業になり、いつもにも増して早い展開になりました。特別活動が出来ず、そのための時間が削られたため、机に座った時間が増えました。2020年度の1年間は、誰も経験したことのない不思議な年でした。

昨年6月に小学校でとったアンケートでは、4割ちがい児童が不安や意欲の減退、イライラ、体の不調を訴えました。「なんでもないような日常生活」が子どもたちの心身を支えていたことが分かります。ある研究によると、子どもたちにとって、この1年間の影響はとて大大きく、2021年度にそれが顕著に出てくるかも知れないと言われています。危機的状況の影響というのは、ある程度時間を経て表面化します。このことは、まだしばらく続くのです。学校や学童で過ごしたこの1年の間に、子どもたちは何を学んだのでしょうか。先生や友だちとの関係はどのように築けたのでしょうか。年齢によって、それぞれ異なる課題があるでしょう。1、2年生が新しい環境のルールを知り、それを自分の行動の基準にすることは、通常でも大変なことです。3年生が終わるまでの間にゆっくりと慣れて、やるべきことが少しはできるようになりま



▲YMCAの活動では、豊かな交わりの中で一人ひとりが尊重され、共に歩むことを目指している (写真は本文とは関係ありません)



が少なくありません。子どもは、着きのなさや学習の遅れが変わらない場合は、早いうちに個別の相談をすることが望ましいでしょう。また、学校になじめない場合、なんとなく怖いということが少なくありません。子どもは、



児童発達支援

早期の支援で行動やスキルの習得に

就学前の発達が気になる子どもを支援しようと横浜北、厚木、藤沢の3カ所のYMCAで児童発達支援事業を行っています。就学前は、着替えや食事などの身辺自立や社会性、コミュニケーションを学ぶ大切な時期であり、発達に遅れや偏りがみられる場合には、それぞれに合った支援を早期から行い適切な行動やスキルの習得につなげていきます。希望者は、見学、体験、事前相談を経て市(区)役所に受給者証受領後、YMCAに申し込みとなります。



教育相談センター

18歳未満の児童・生徒の発達相談

横浜YMCA教育相談センター(横浜北YMCA内)は、だれもが自分らしく生きていくことを願い運営しています。4月から新しい環境で緊張感を感じる中「勉強についていきにくい」「集中力がない」「コミュニケーションが苦手」「集団行動が苦手」といったケースを気軽に相談できます。相談は完全予約制で来館による面談。1回50分。午前10時から午後5時。1回あたり6,655円(税込み)。☎045-433-4321。bl_info4@yokohamaymca.orgへ。



今まで関わってきた大人とのルールの違いに違和感を持ち、戸惑って、どう振る舞えばよいのか分からなくなり、環境が変わるといってはそういうことです。お友だちとなじめない場合は、低学年、高学年を問わず、コミュニケーションのスキルとして選択肢を持っていないために、逃げたり、断ったり、言い返したり、折り合いをつけたりすることができなくて、不適応になることがあります。ストレスを健康的にどう解消するかを一緒に考える必要もあります。親としてできるもっとも良いことは、ご飯を食べさせること、よい睡眠を取れるように配慮すること、一緒に笑うことだと思います。叱りすぎたなと思ったら、それを少し上回るくらいに一緒に笑いましょう。叱りすぎ、あります。手抜き、あります。親も子も幸せになるために生まれてきました。さあ、深呼吸して、空を見上げましょう。

ホドス

興信所発行の分厚い紳士録の中に多彩な履歴が載っていたが、今は発行中止らしく見かけない。就職希望者に多く利用された。一項目の最後に趣味の項があり、その中で「読書」が多かった。学生時代の旧師は弟子の項目を見て、「趣味とは何ごとか」と文句を言ったらしい。教授にとって読書とは仕事で研究なのだ。卒業すると週刊誌の読書に傾くことを見かねたらしい。仕事の上で必要になることしか見向きもしない。無難な「趣味は読書」が流行する。多忙な仕事時代が終わると有閑年代になり、読書が必要になり趣味に読書が登場する。牧師として似たもので、牧会中は参考書としてポール・トゥルニエ著「老いの意味」を購入して参考にした。講演を去るに及んで再読して自己の老いを考える▼京都の詩仙堂に石川丈山の書が掲げられていた。「閑」一文字である。コロナ時代に読書は再登場し、読書人を育てた。出費を防ぎ、図書館は人びとに閑居を楽ませ、老化学防止に最適になる。自己発揮のための執筆も促され、家族にやささか尊敬される。若き日の積ん読が役に立ち、当今、外出禁止にも対応する。進んで書くことを試みてはどうか。古典随筆「方丈記」は乱世に書かれた。コロナ乱世に記述も欠かせない。「エッセイ」には、「試みる」の意味があり、老人にも適している。長い間、二宮に住んだ坂西志保はエッセイとは「その人でなければ書けない文」とした。読書に促されてペンを執り、コロナ禍の克服を試みてはどうか。(愛)